

ハンディトランシーバー用ヘルメットフォン

この取扱説明書について

このたびは、(株)エス・イー・シーのハンディトランシーバー用ヘルメットフォン“HP-1800”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては、本機の性能を十分発揮させていただくためこの説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

注意事項

本機を安全に正しくお使いいただくため、以下注意事項を記載しております。十分にご理解された上でお取り扱いください。

△危険	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△危険	走行中に、本機の取り付け直しおよび調整はしないでください。転倒・衝突など交通事故の原因になります。発進前に十分な取り付け調整を行ってください。
△危険	本機およびコード類は、バイクの運転操作の支障となる取り付け方をしないでください。転倒・衝突など交通事故の原因になります。
△警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
△警告	コード類は必ず固定してください。走行中に風等により不用意に絡まり危険です。
△警告	コード類は、無理に引っ張ったり巻き付けたりしないでください。交通事故の原因になります。
△警告	ヘルメットへの取り付け方は、この取扱説明書に従って確実に取り付けてください。間違った取り付け方は、交通事故の原因となります。
△警告	スピーカー音量は、むやみに大きくしないでください。難聴の原因あるいは外部の音が聞こえにくくなるなど交通事故の原因になります。
△警告	走行中は、本機のボリューム・スイッチ類の操作はしないでください。走行中の操作は、交通事故の原因になります。
△警告	本体内部は調整されていますので、改造・調整はしないでください。
△注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
△注意	コネクターを、濡れた状態で抜き差ししないでください。誤動作の原因となります。
△注意	マイクロフォンのフレキシブルパイプは、無理に曲げないでください。けが、故障の原因となります。
△注意	本機は緊急通信や非常通信用途には設計されておりませんのでご承知おきください。

ご注意とお願い

- 本機の音声はモノラル仕様です。
- マイクロフォンには必ず、風防を取り付けてご使用ください。
- ご使用になるハンディトランシーバーおよびアンテナの取付方法や場所、取扱電力等によっては回り込みを起こして、ご使用になれない場合がありますのでご了承ください（本機をできるだけハンディトランシーバーやアンテナから離せば、防げる場合があります）。
- 本機をハンディトランシーバーに接続している間は、ハンディトランシーバー内蔵マイクおよびスピーカーはご使用になれません。あるいは、機種によってトランシーバー内蔵のマイクより周囲の音を拾う場合がありますのでご注意ください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 性能改善のため、予告なく仕様およびデザイン等を変更する場合があります。

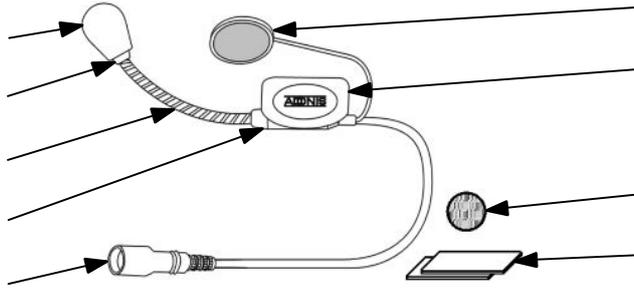
アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、または弊社に保証書を添えてお申しつけください。

各部の名称

●取り付けを始める前に、付属品と各部の名称をご確認ください。(1図)

(1 a 図) スピーカー付マイクロフォン部

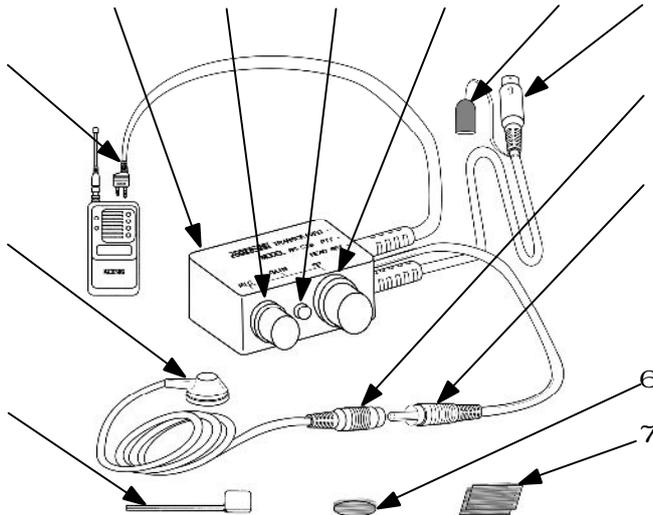


風防
マイクロフォン
フレキシブルパイプ
クリップ部
スピーカー
クリップカバー
マイク/スピーカー中継ジャック

付属品

マジックテープ大丸 1枚
ゴム板 2枚

(1 b 図) スイッチボックス部



スイッチボックス
マイクゲイン調整ボリューム
送信表示ランプ (LED)
スピーカー音量ボリューム
マイク/スピーカー中継プラグ
送受信切換 (PTT) スイッチ中継ジャック
送受信切換 (PTT) スイッチ中継プラグ
送受信切換 (PTT) スイッチ
トランシーバー接続プラグ
プラグキャップ

付属品

結束ベルト 6本
6マジックテープ小丸 (送受信切換スイッチ用)
7マジックテープ四角 (スイッチボックス用)
オス・メス各1枚

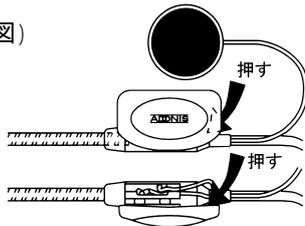
(無線機はセットに含まれません)

ゴム板の使用法

「フチカバー」が付いていないヘルメットへ クリップ部を取り付けるとヘルメットにキズがついたり外れたりする場合があります。クリップ部を取り付ける位置に、付属の ゴム板をヘルメットの外側と内側へ一枚ずつ、剥離紙を剥がして貼り付けてください。その後 ゴム板の上へ クリップ部を取り付けてください。

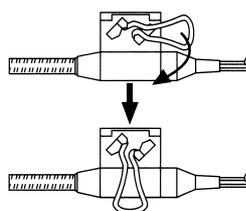
取付方法 (スピーカー付マイクロフォン部)

(2 図)



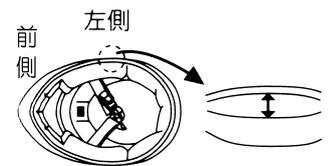
クリップ部に付いている クリップカバーを図のように裏側から押して外してください。

(3 図)



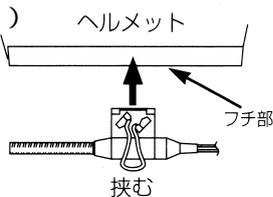
閉じているクリップレバーを開けてください。

(4 図)



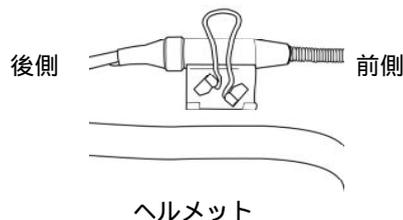
ヘルメット左側下部のフチとインナーパッドの間を少し広げます。

(5 図 a)



クリップレバーを指で挟みクリップを広げ、マイクロフォンが口元に来る位置にヘルメット左側下部のフチをはさむように固定します。

(5 図 b)

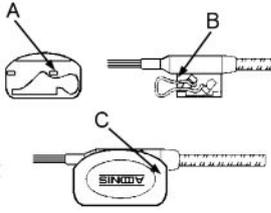
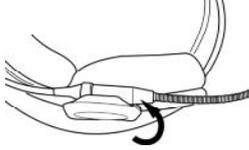
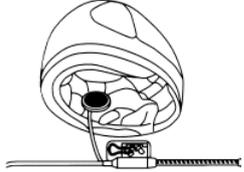
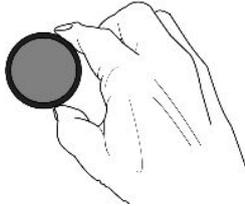


ヘルメットをひっくり返して固定をすると作業がしやすくなります。

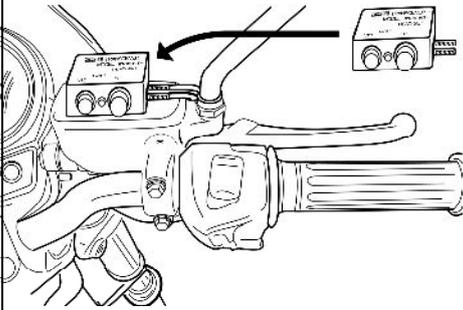
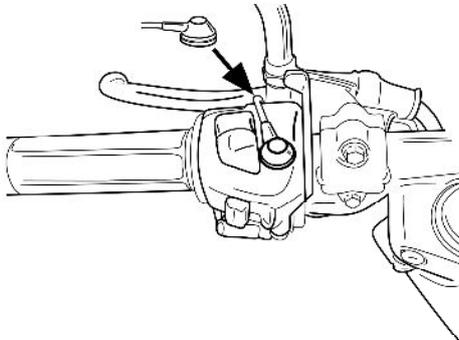
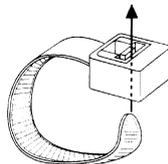
(5 図 c)



クリップがヘルメットのフチに固定されていることを確認します。

<p>(6 図)</p>  <p>クリップレバーを閉じます。</p>	<p>(7 図)</p>  <p>クリップカバー各部分を A、B、C 部とします。</p>	<p>(8 図)</p>  <p>ヘルメット</p> <p>クリップカバーの A のツメをクリップの B 部に引っ掛けます。</p>	
<p>(9 図)</p>  <p>ヘルメット</p> <p>クリップカバーの C 部を外側へ曲げながら強く押します。</p>	<p>(1 0 図)</p>  <p>もう片方の クリップカバーのツメもクリップに引っ掛け、クリップを クリップカバーのツメで抱え込むように取り付けます。</p>	<p>(1 1 図)</p>  <p>スピーカーをヘルメット内側の左耳位置付近に取り付けます。取付位置に付属のマジックテープ大丸の剥離紙を剥がし貼り付けた上で取り付けてください。</p>	
<p>(1 2 a 図)</p>  <p>ご注意) スピーカー付マイクロフォンの スピーカーを取り付ける場合は、スピーカーの外枠を持って 1 2 a 図のように取り付けます。1 2 b 図のようにスピーカーの外枠以外を押して、取り付けないでください。スピーカーの故障の原因となります。</p>	<p>(1 2 b 図)</p> 	<p>(1 3 図)</p>  <p>ご注意) スピーカー付マイクロフォンの スピーカーは外枠を持って、取り付け、取り外しを行ってください。</p>	<p>(1 4 図)</p>  <p>耳</p> <p>スピーカー</p> <p>ご注意) ヘルメットへ クリップ部がしっかり取り付けられていることを確認してください。また、スピーカーの音を効率よく聞き取るため、耳の穴とスピーカーの中心が合うように調節してください。</p>

取付方法 (スイッチボックス部)

<p>(1 5 図)</p>  <p>スイッチボックスの操作がしやすく運転の邪魔にならない場所に 7 マジックテープ四角のメスを、スイッチボックスへオスを、各剥離しをはがし貼り付け スイッチボックスを取り付けます。 マジックテープ四角の表面をさわりザラザラするほうがオスです。</p>	<p>(1 6 図)</p>  <p>送受信切換 (P T T) スイッチ中継プラグと 送受信切換 (P T T) スイッチ中継ジャックを接続し、送受信切換 (P T T) スイッチの操作がしやすく運転の邪魔にならない場所に、6 マジックテープ小丸の剥離しをはがし貼り付け 送受信切換 (P T T) スイッチを取り付けます。 マジックテープ小丸の表面をさわりザラザラするほうがオスです。</p>	<p>(1 7 図)</p>  <p>結束ベルトであまっているコード類を邪魔にならないようにバイクに固定してください。 (結束ベルトをコード類に巻きつけてから先端を角穴に入れ引き出して固定してください。) 運転操作の支障となる固定をしていないか十分に調べ、支障となる場合は工夫して固定のやり直しをしてください。</p>
--	--	--

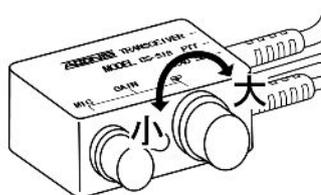
使用方法

(17図)



スピーカー付マイクロフォンを取り付けたヘルメットをかぶり、マイク/スピーカー中継ジャックとマイク/スピーカー中継プラグの矢印が同じ位置で向き合うようにしっかりと挿し込んで接続してください。

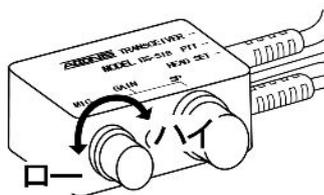
(18図)



トランシーバー接続プラグをご使用になるハンデイトランシーバーに接続してください。ハンデイトランシーバーの電源を入れてください。

スイッチボックスのスピーカー音量ボリュームを右側に回し切った状態で、接続したハンデイトランシーバーの音量ボリュームを調整しスピーカーが歪まない程度に最大の音量にしてください。スピーカー音量ボリュームを右側に回すとスピーカーの音量が大きくなり左側に回すと小さくなります。使用状況に応じ調整してご使用ください。

(19図)



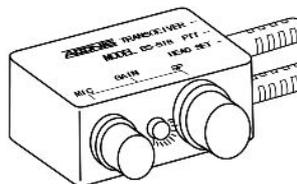
スイッチボックスのマイクゲイン調整ボリュームは、右側に回すとハイレベル(高い)になり、左側に回すとローレベル(低い)になります。通常はローレベルで交信するようにレベルの設定を行い、運用状況により調整してご使用ください。

(20a図)



スイッチボックスの送受信切換(PTT)スイッチを押している間(20a図)だけ送信表示ランプ(LED)が点灯(20b図)し、送信状態になります。離すと送信表示ランプ(LED)が消灯し受信状態に戻ります。

(20b図)



(21図)



マイク/スピーカー中継ジャックよりマイク/スピーカー中継プラグを抜いた時は、雨・水を避けるためプラグキャップへマイク/スピーカー中継プラグを挿し込んでください。

無変調防止回路について

送受信切換(PTT)スイッチ中継プラグに接続されているスイッチが不用意に動作した場合、または通常の交信においても、送信状態が約30秒間続けばアラーム回路が作動し、警報音が約5秒間鳴った後、自動的に受信状態に戻ります。警報音が鳴り出しても続けて送信したい場合は、一旦送受信切換(PTT)スイッチ中継プラグに接続されているスイッチを受信状態に戻し、その後送信してください。

オプション(別売品)について

BS-26L	送受信切換スイッチ(レバー式、バックミラー支柱へ共締め)	¥1,890
BS-26N	送受信切換スイッチ(レバー式跳ね返り、バックミラー支柱へ共締め)	¥1,890
BS-28	送受信切換スイッチ(プッシュ式、マジックテープによる貼付)	¥1,890
BS-5	マイク/スピーカー延長コード(コード長約1.5m)	¥1,890
BS-24	マイク/スピーカーケーブル延長コード(コード長約45cm~1.5m)	¥3,150
C-1KP8	モバイル機接続アダプター(別途マイク変換コードが必要です。)	¥8,190
BS-TH5	多機能タンデムアンプ	¥16,800
BS-TL3	外部入力端子付きタンデムアンプ	¥9,240
	(スイッチボックスは使用しませんので無線通信はできなくなります)	
BS-K2	携帯電話用アンプ	¥10,290
	(スイッチボックスは使用しませんので無線通信はできなくなります)	
BS-11	携帯電話用接続コード	¥2,520
	(スイッチボックスは使用しませんので無線通信はできなくなります)	
BS-25L	ボリューム付マイク/スピーカー延長コード(コード長約1.5m)	¥4,725
BS-25S	ボリューム付マイク/スピーカー延長コード(全長約13cm)	¥4,725
HS-15F	スピーカー付マイクロフォン	¥10,290
HS-15FW	2スピーカー付マイクロフォン	¥12,390

SEC

株式会社エス・イー・シー

大阪営業所

〒576-0017 大阪府交野市星田北1丁目38番15号
TEL (072)893-3111(代表) FAX (072)891-2240

ホームページ

<http://www.adonis.ne.jp/>